

# 転生ゴブリン

前世で童貞のまま死んだ俺は  
チート催眠で自分より  
強くて大きい女を犯しまくる

～女狩人調教日誌 前編～

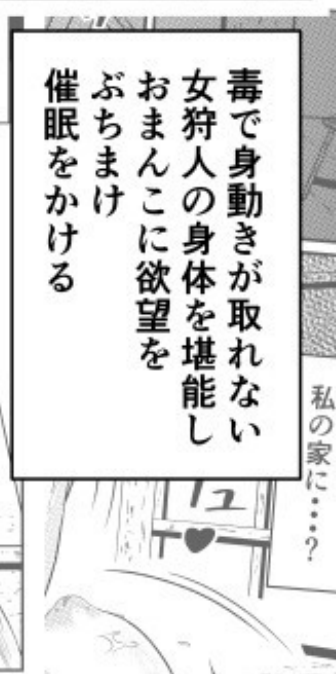
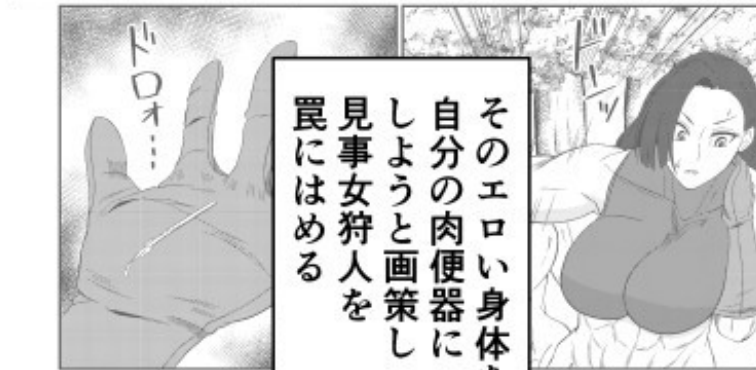
すると  
突如私の首が強  
締め上げられた

そして苦しそうに  
しているベットの腹を  
思い切り殴りつける

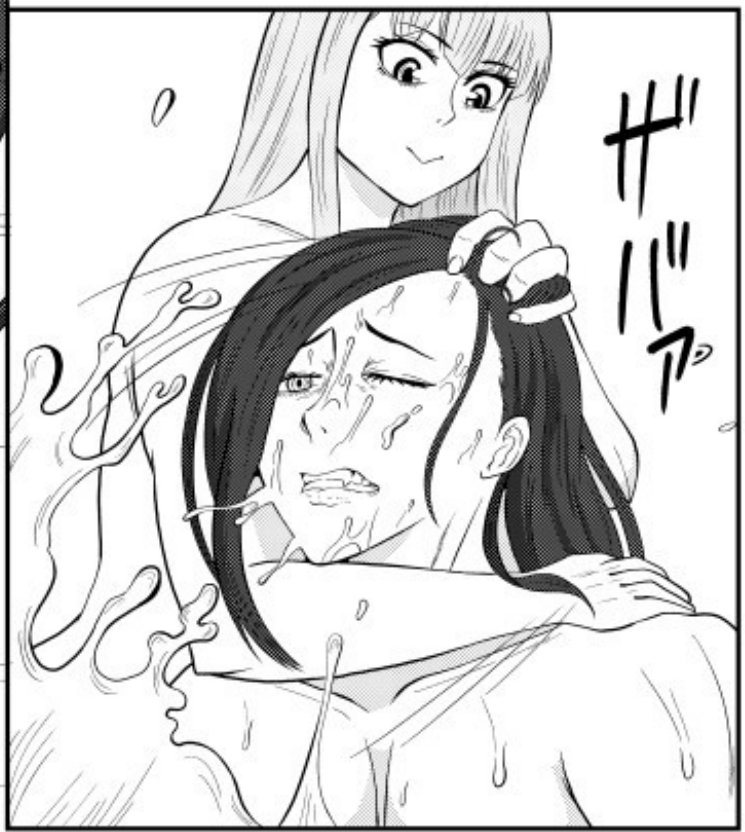
本編 36P











こいつらは  
私の心を徹底的に  
折るために！

ド  
ミ  
ャ  
ア  
ー  
!!

やだー

様々な方法で  
恥辱と苦痛！

めっちゃめっちゃ  
下品にイキ潮  
ふいてる！

そして快楽を  
与えてくれる

ヒ  
ュ  
ル  
ル  
!!

だが私は  
この程度の責め苦で  
音を上げたりしない

私は  
絶対に……  
負けない!!

どれほど無様な  
生き恥をさらし  
強烈な快感に  
身が悶えようと

あゝ  
今度は  
良い感じ

# 転生ゴブリン

前世で童貞のまま死んだ俺は  
チート催眠で自分より  
強くて大きい女を犯しまくる  
～女狩人調教日誌 前編～

今回あんまり出番ない。



最初の調教で  
私は『ワン』と鳴いて  
お手をするよう  
命じられた



まるで犬を  
躡けるような命令だ  
私は頑として  
それを拒絶すると



ハチキーン!!

ハチキーン!!



容赦なく鞭で  
打ち据えられた

ハチキーン!!

ハチキーン!!

痛みよりも  
怒りが  
私を支配する



そのせいで  
調教の時間が  
より長くなった







その証拠に  
私にかけられた  
謎の術が解けていた

身体が自由になった私は  
喜び勇んで奴の首を  
へし折ろうとする



次に私は  
ゴブリンの  
男根をしゃぶるよう  
命令された

「八の物でも嫌なのに  
誰がそんなものを」と思ったが  
どうやらこいつはわざわざ  
私の意志でしゃぶらせたいらしい

トロォ



どうやら私が  
危害を加えようとする  
直ちに術が発動する  
らしい

そうなるともう  
身動きができず  
折檻を待っただけの  
人形になる

トロォ



しかし奴の体に  
私の攻撃が触れることは  
なかった



その事にやっと  
気づいたのはー

散々痛めつけられ  
意識を失おうとしている  
最中だった







あまりの  
気持ち悪さに  
首を横に振る

ヒク  
ヒク  
ヒク

グググ  
うぐ

すると  
突如私の首が強く  
締め上げられた



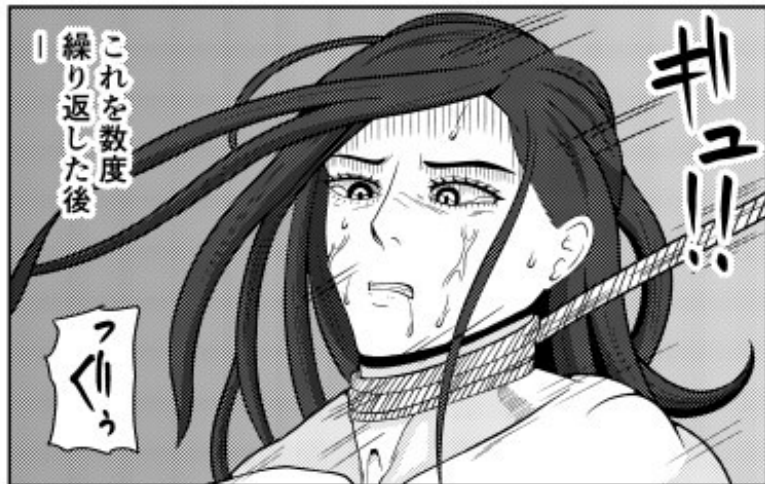
よだれ、涙、鼻水、  
小便をまき散らしながら  
必死に空気を取り込もうとする

グググ



カハ  
息の吸えない苦しさに  
目がチカチカする

まえっ



これを数度  
繰り返した後

グググ

キム



あ!!

はっ!!

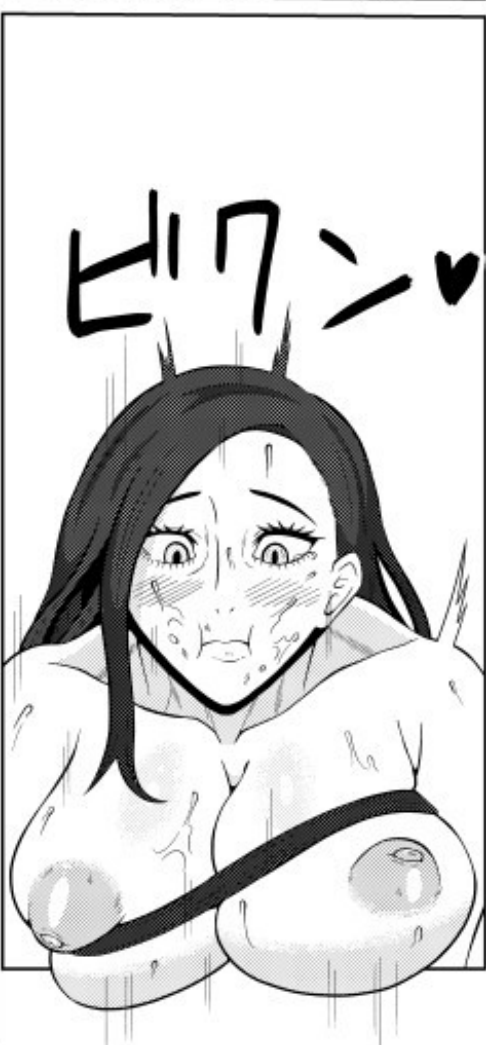
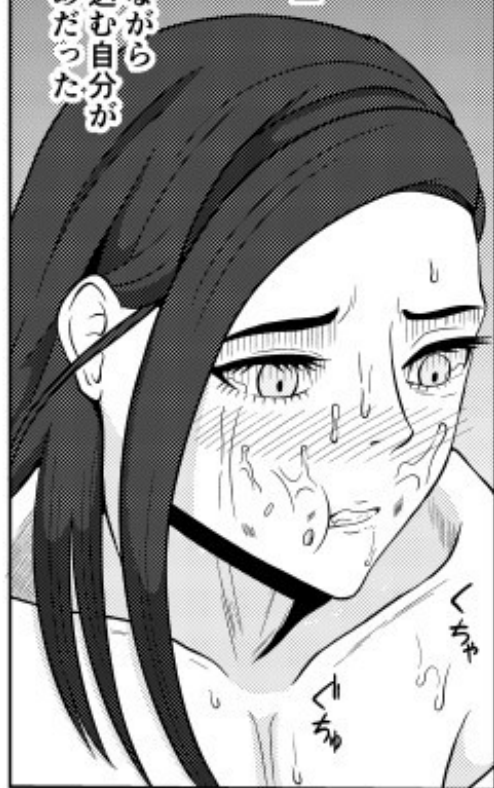
そして死を  
予感した時になって  
ようやく  
首の拘束が解かれる

私は自分から  
精液で汚れた飯を  
食べていた

『精液だとして毒ではないから』

『生きるためには  
食わなければ  
いけないのだから』

そう言い訳しながら  
腕に顔を突っ込む自分が  
どこまでも惨めだった





ゴブリンが  
飯を食ったご褒美にとー

膣に精液を  
流し込んでいた

え……?

ヒュッ

ゴブリン



子宮は自分を孕ませてくれるオスを  
歓迎するように下りてくる

チュッ

チュッ



そんな  
屈辱の最中でも  
私の膣は男根に  
媚びる様に  
締めつけ

グニャグニャ

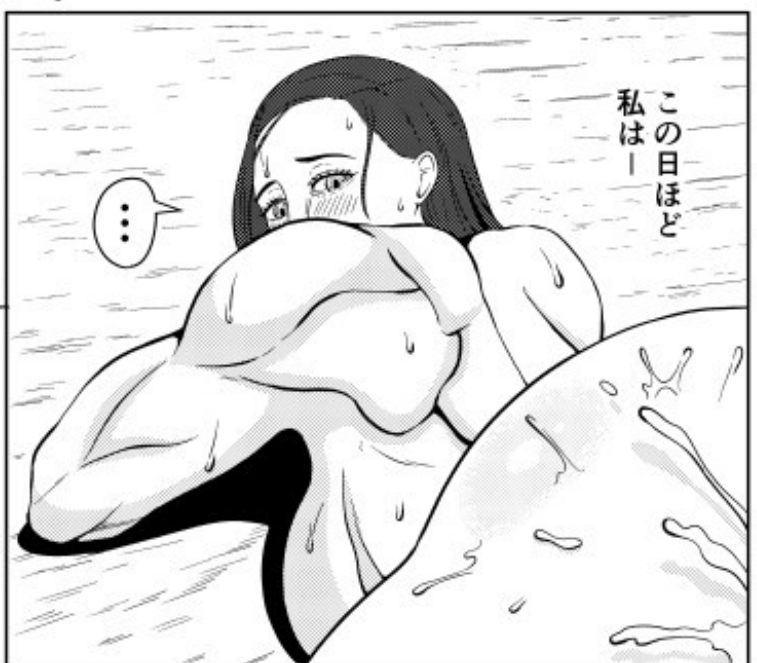
ギョウ



自分が女に  
生まれたのを  
恨んだ日はなかった

ガッ

ガッ



この日ほど  
私はー

…



いつもの様に  
性器を弄ばれていると  
いつもと違う事に気づく

んお

グチャッ

グチャッ

グチャッ  
あ

もっもっもっ  
イッてる...!!



馬鹿馬鹿しい...

そんな事せずとも  
散々膣壁や陰核で  
泣かせてきただろうに

イッてる!!

イッてる  
のにイッてる



責めが苛烈というか  
執拗に子宮口を  
責め立てるのだ

どうやら私が子宮口で  
絶頂しない事が  
不満らしい

グチャッ!!

ドチュッ!!

ドチュッ!!

OH!!

結局奴は  
朝から晩まで私の性器を  
乱暴に突きまくり

ああ!!

ビクッ

ゴロン

ああああ!!

私は何度も何度も  
無様に気をやってしまった

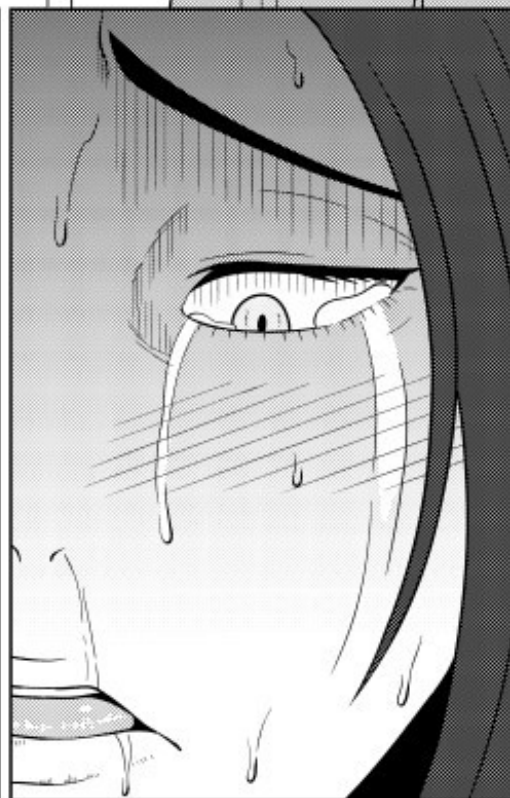
ビク

だが奴は私が上手く子宮口で  
絶頂出来なかったと  
判断したようでー

ゴフリンは不機嫌そうに  
『お仕置き』を  
していった...

『お仕置き』の内容は...

いや...やめておこう  
あんな女をコケにする様な  
所業など...





冒険者の頃の夢だ

私には度々一緒に仕事をし  
尊敬している先輩がいた

ある日その先輩が  
冒険者を辞めると  
言い出した



その日の夜  
私は夢を見た



私より強いのに  
辞めるといふ事が  
理解できない反面

何故かとても  
羨ましいと感じた



子供の頃からの夢である  
魔道具の店を開くのだと



誰しも持って生まれた  
資質や才能がある

それが最も輝く場所で  
努力する事こそが  
人としての生き方だ



私にとっての生き方とは  
適材適所だ



私も……



彼女は自分の叶えたい夢のために生きるのだ







# 転生 ゴブリン

前世で童貞のまま死んだ俺は  
チート催眠で自分より  
強くて大きい女を犯しまくる  
～女狩人調教日誌 前編～

## ゴブリン視点



異世界に来てから  
やつとの事でー

家らしい家に  
住むことが  
出来るようになった



この家の元主人は  
現在俺のペットとして  
飼ってやっている



無理矢理首輪をつける様な  
形になってしまったが

こちらも沢山  
気持ち良くさせてあげてるので  
文句は言わせない

ドキュ  
ドキュ  
ズチュ



さて早速驂の方を  
進めているが

とにかく強情で気が荒いため  
これが中々上手くいかない  
(ペットが立って歩くなど  
何度も言っているのに...)



なのでお仕置きとして  
いっぱい殴ってあげた

かはっ

ド  
キ  
ッ



今日も狩りを  
させようとしたが  
嫌な顔をするだけで  
全然動こうとしない…



罪悪感が無いわけ  
ではない…

ヒクッ

ヒクッ

みし、  
みし、



女は男の為に奉仕する

自分がそんな生き物である事を  
自覚するまで何度も何度も

ド  
キ  
ッ

キ  
ッ



だが高いプライドは  
女にとって一番  
不要なものであり

ビクッ

ビクッ

ビクッ

男に奉仕する事が生き甲斐の  
女にとつて不幸の元なのだ

だから彼女のためにも  
心を鬼にして  
調教しなければいけない

だが最近こういった  
殴る蹴るのお仕置きに  
慣れてる節がある…

違う方法も考えなきゃ  
だなあ…

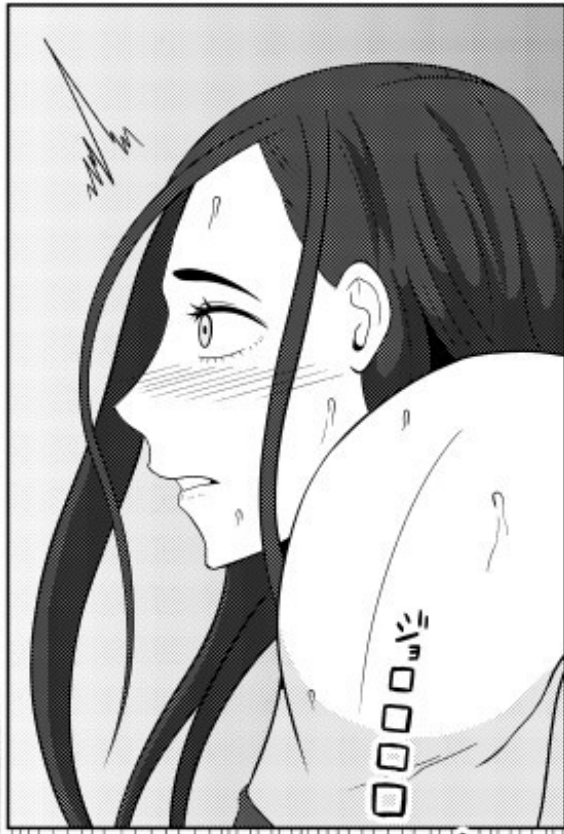






腠が上手くいかない  
焦燥感もあって  
俺は夢中で腰を振った



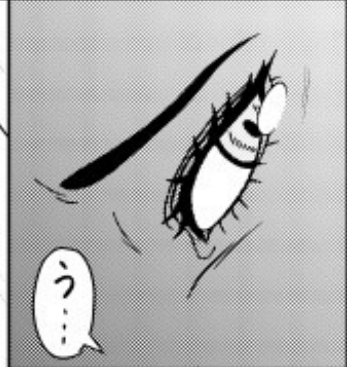




愛の鞭だと思って  
理解してもらえない



頑張って訓練に  
ついてきてくれるペットに  
この仕打ちには  
あんまりだと思ったが



悔しそうなペットの  
慟哭を聞きながら

明日こそはという  
決意で胸がいつぱいになった

うううう  
――

うううう  
ああああ!!

グッポッ  
グッポッ  
グッポッ



羨は中々難しいが  
上手くやってる物もある

グチャ  
グチャ

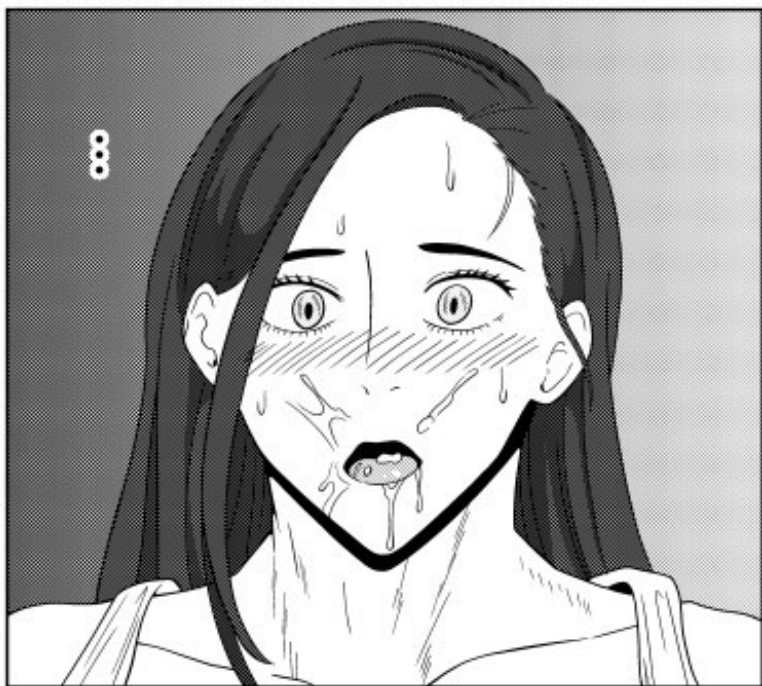


それは餌の羨だ

あれほど嫌がっていた  
ザ・メニュー入りの飯を  
最近自分から飯を  
沢山食べるようになった

グチャグチャ  
フニ







だがどういう心境の変化だろう

ドチュ

あー！  
そこだ！！

ペットが訓練に大変乗り気だった  
グチュ

グホ

今日も子宮口でイク訓練の続きをした



きっと俺の愛情が伝わったのだろう...

俺はペットのやる気に応え彼女の指南通りに子宮口を攻め抜いた

コリ

グミ

あんっああ！！  
それ好き！！



どうすれば子宮口でイけるのかをペット自らが俺に教えてくれている

もっと強く！！

ズホッ

ズホッ

グチュン

するとペットの腰が  
大きく跳ね上がり  
目に見えてイクのが  
分かった

ど  
ぶ  
い

開発が上手くいった  
達成感

ペットと心が通った  
嬉しさ

それらが相まって  
いつもの何倍もの  
ザーメシを吐き出してしまおう  
かッ



あッ  
ドッ



ご褒美に頭を撫でてやる  
彼女は恥ずかしかったのか  
黙って向こうを眺めながら  
俺に頭を撫でさせた

ど  
ぶ  
い

あッ  
ドッ

最近ベットとの  
絆が深まっていると  
感じたのでー

前回失敗したお手を  
させようとしたが  
ダメだった…



まだまだ厳しくする  
必要があるらしい

お仕置きとして  
水を限界まで飲ませた

んんん!!  
んぐ!!



おネー!!!

今までには無いタイプの  
騾であった事と  
腹が内側から水で圧迫される  
苦痛にベットの余裕はすぐ消える

グホォ!!!



そして苦しそうに  
しているペットの腹を  
思い切り殴りつける



パンパン!!!



どはっ

ドド  
ゴゴ!!!

すると先をつまんだ  
ホースの様に  
ペットの口から  
水が噴き出す

おえええ  
おほお!!!



カタ  
カタ  
カタ

がぼっ

ごぼ!!

ごぼ!!

何度も何度も腹部を殴り  
飲ませた分を噴水させる  
水の勢いが落ちれば  
また限界まで飲ませる

村娘  
いきますよー!  
さーん!

にー!

いち!



途中から何をしても  
うめき声すら  
上げなくなった

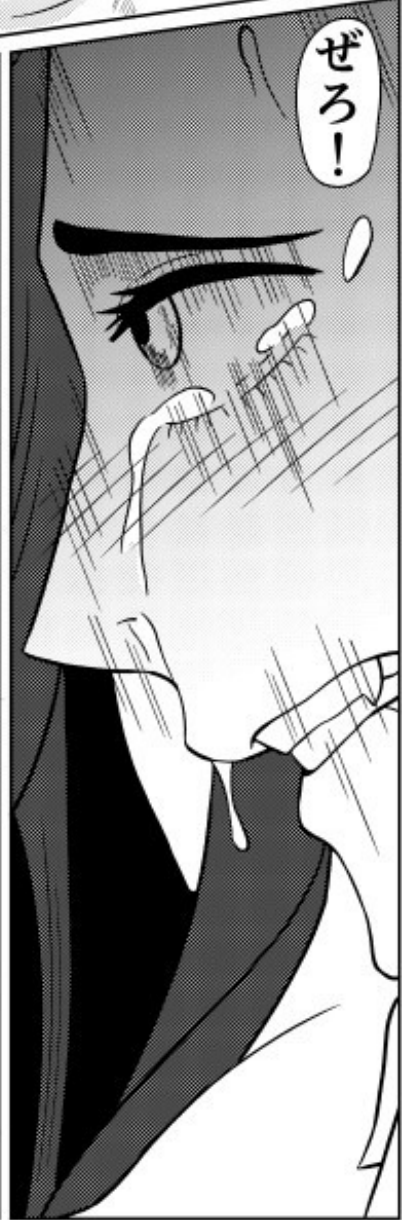
今回のお仕置きには  
ペットも参ったようだ

びんぐ

びんぐ

ちびびび

びんぐ



ぜろ!

あゝん

あゝい

あゝあゝ

ちよつとお仕置きが  
奇烈過ぎたかと思  
い  
ご褒美として  
軽くハメてやる



すると何故か  
殊更激しく  
膣をヒクつかせた

ズチユ

ガチユ

ズチヤ

バチユ

どうやらGスポットを  
決られるのが好ましい  
今度から子宮口と合わせて  
ご褒美の一つに加えよう